

# インマヌエル中目黒キリスト教会

## 2014年8月3日聖日礼拝

---

使徒の働き連講③⑦

「福音の核心」

使徒の働き13章13節-23節

竿代照夫牧師



# 聖書朗読

## 新約聖書

### 使徒の働き13章13節-23節

聖書本文は新改訳聖書第三版  
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

第二版の聖書はp232~/ 第三版の聖書はp254~

13 パウロの一行は、パポスから船出して、パンフリヤのペルガに渡った。ここでヨハネは一行から離れて、エルサレムに帰った。

14 しかし彼らは、ペルガから進んでピシデヤのアンテオケに行き、安息日に会堂に入って席に着いた。

15 律法と預言者の朗読があつて後、会堂の管理者たちが、彼らのところに人をやってこう言わせた。「兄弟たち。あなたがたのうちどなたか、この人たちのために奨励のことばがあつたら、どうぞお話しください。」

16 そこでパウロが立ち上がり、手を振りながら言った。「イスラエルの人たち、ならびに神を恐れかしこむ方々。よく聞いてください。」

17 この民イスラエルの神は、私たちの父祖たちを選び、民がエジプトの地に滞在していた間にこれを強大にし、御腕を高く上げて、彼らをその地から導き出してくださいました。

18 そして約四十年間、荒野で彼らを耐え忍ばれました。

19 それからカナンの地で、七つの民を滅ぼし、その地を相続財産として分配されました。これが、約四百五十年間のことです。

- 20 その後、預言者サムエルの時代までは、さばき人たちをお遣わしになりました。
- 21 それから彼らが王をほしがったので、神はベニヤミン族の人、キスの子サウロを四十年間お与えになりました。
- 22 それから、彼を退けて、ダビデを立てて王とされましたが、このダビデについてあかしして、こう言われました。『わたしはエッサイの子ダビデを見いだした。彼はわたしの心にかなった者で、わたしのこころを余すところなく実行する。』

23 神は、このダビデの子孫から、約束に従って、イスラエルに救い主イエスをお送りになりました。

# 説教

## 使徒の働き連講③⑦

### 「福音の核心」

### 使徒の働き13章13節-23節

竿代照夫 牧師





## 主テキスト

「神は、このダビデの子孫から、  
約束に従って、イスラエルに救い主イエスを  
お送りになりました。」

(使徒13: 23)

# 前回の復習

宣教は、聖霊に派遣されて行われる

1. キプロスからペルガへ(13節)(地図参照)
  - パンフリヤのペルガに
  - マルコの離脱: ①サウロへの反発?  
②旅行の苦しさ?  
③ホームシック?



## 2. ピシデヤのアンテオケへ(14~15節)

- ・ピシデヤのアンテオケ(再度地図参照): 半島中央の高地でローマの植民都市、ガラテヤ州の中心地(ガラテヤ4:13-14)
- ・安息日の礼拝:
  - ①シエマ(申命記6:4-9)の吟唱
  - ②祈禱と祝禱
  - ③トーラー(律法)の朗読
  - ④預言書の朗読
  - ⑤説教・教え
- ・パウロに説教の機会が与えられる

### 3. 福音説教の中心点(16～23節)

- パウロはジェスチャーを交えて説教する
- 二種類の聴衆を意識
  - ①ユダヤ人と、割礼を受けた異邦人
  - ②求道者的な異邦人

# ・旧約の歴史を振り返る：ステパノ説教の スタイル

- ①イスラエル(アブラハム)の選び
- ②エジプトでの苦難と脱出
- ③士師(さばきづかさ)の時代
- ④サウルから始まる王制
- ⑤ダビデの選びと彼への約束

## ・ダビデとその子孫への約束に焦点を絞る

- ①ダビデには永遠の王国が約束された  
(詩篇89:19-29)
- ②しかし、実際のダビデ王国とダビデ王朝は  
滅びた(BC6世紀)
- ③その反面、霊的なメシヤ王国への希望は  
強まった(エレミヤ23:5-8)
- ④メシヤ待望を体現したのがナザレのイエス

終わりに

神の壮大な救いの計画を感謝しよう